

平成29年度9月定例記者会見 会見録

日時 平成29年9月29日（金）午後3時45分～4時20分

場所 市役所2階第1特別会議室

（市長）

はじめに、本日、散会いたしました市議会、9月定例会議でございます。9月定例会議につきましては、36日間のご審議をいただいたところでございます。提案いたしました、すべての案件につきまして、ご議決をいただきました。議員の方々からは、平成28年度決算をはじめ、共生社会の実現に向けた取組、子ども・若者への支援、教育行政、公民館のあり方についてなど、多岐にわたる質疑等をいただきました。市といたしましても、引き続き、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

次に、市民後見人についてでございます。わが国では、急激な高齢化の進行に伴い、成年後見制度の利用を必要とする高齢者の増加が予想され、後見人の不足が懸念されております。こうした課題に対応するため、国では、「成年後見制度の利用促進を図る法律」に基づき、本年3月に、「成年後見制度利用促進基本計画」が定められるとともに、各自治体においては、親族や専門家だけでなく、市民という立場で成年後見人として活動を行うことのできる「市民後見人」の育成の強化等に取り組んでいるところでございます。本市では、平成27年度から、市民後見人の育成に向けた研修を実施しておりましたが、この度、約2年間にわたる研修を修了した候補者16人の中の一人が、家庭裁判所より後見人に選任され、本市では初めてとなる市民後見人として活動を開始することとなりました。今後とも、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、将来を見据えた施策を総合的に進めてまいりたいと考えております。

次に、国際交流フェスティバルについてでございます。この催しは、市内でもっとも大きな国際交流イベントとして、毎年、淵野辺駅周辺で行われているものでございまして、今年は、明後日10月1日の日曜日に開催いたします。外国人の方と直接交流ができる「お茶会」をはじめ、世界各国の踊りや外国人による日本語スピーチ大会を実施するほか、エスニック料理や民芸品の販売等、様々なブースも出展します。都合がございましたら、ぜひ、取材をお願いいたします。

次に、リーボック スパルタンレースについてでございます。スパルタンというのは、古代ギリシャの「スパルタ人」のイメージと、厳しい環境でやり抜く姿が重なることから名付けられたレースだそうでございます。民間企業主催で、本市も後援いたします。世界最高峰と言われている障害物レースが、10月21日（土）、22日（日）の2日間、さがみ湖リゾート プレジャーフォレストで開催されます。このレースは、世界約30カ国で開催されており、日本で会場となっているのは、現在のところ本市のみとのことでございます。選手たちは、行く手を阻む壁を乗り越えたり、泥まみれになりながら有刺鉄線の下を這って進んだりするなど、20種類以上の障害物にチャレンジするという、大変過酷なレースと伺っております。また、今回は、お子さん

が参加できるキッズコースが設置されるほか、レース以外にも、ステージイベントや、障害物の体験もあるとのことですので、より多くの皆様にスパルタン レースの醍醐味を楽しんでいただけるのではないかと思います。本市のPRブースも出展しますので、是非、ご来場いただければと思います。

最後になりますが、小星副市長が、明日、9月30日をもちまして、任期満了により退任いたします。小星副市長は、平成21年10月1日から、2期8年にわたりまして、広域交流拠点の形成に向けた新たなまちづくりの推進をはじめといたしまして、圏央道インターチェンジ周辺における産業拠点の整備、防災・減災対策、産業の振興など、市政発展のために、力を尽くしていただきました。これまで、記者の皆様には、様々な場面で取材やご指導をいただきましたことを、私からも御礼申し上げます。

私からは以上でございます。

(記者)

公民館の有料化について、本日、市議会定例会議で賛成多数で可決されました。市長としてどのように受け止めていますか。

(市長)

公民館の使用料導入については、市民の方から撤回を求める要望書や署名などをいただいております。地域にとって重要な活動拠点である公民館を、これからも多くの方が利用できるよう取り組んでいかなければならないと考えております。公民館の部屋を使用される方に、使用料の一部をご負担いただくことは、公平性の確保のほか、市民の学びの環境を確保し、将来につなげる持続可能な施設運営を図るためにも、必要なことと考えております。地域自治振興や教育振興、社会福祉振興を目的とする公益性の高い地域活動団体が、その目的のために使用するなどについては使用料を免除することとしますが、免除の基準につきましては、なるべく詳細な具体例を示したものを策定いたします。また、今後、広報さがみはら、ホームページへの掲載、公民館内の掲示など、市民の皆様に対して分かりやすく周知するほか、利用者団体には直接、会合等での説明や手紙などにより、丁寧にお知らせをしてまいりたいと考えております。

(記者)

一部議員の方からは、公民館への防犯カメラの設置についての懸念が示されておりますが、これについてはどう考えていますか。

(市長)

公民館使用料導入のための発券機の設置に伴い、公民館の施設管理上、防犯カメラを設置させていただくこととなります。プライバシーへの配慮が課題であると考えておりますので、そういったことも丁寧に説明させていただきたいと思っております。

(記者)

衆議院が解散し、総選挙に向けて新党が結成されるなどの動きがあります。新党は規制改革を

旗印に掲げておりますが、市長はその点についてはどのような感想をお持ちですか。

(市長)

解散総選挙に伴い、外交や防衛に関する問題、規制の見直しが報道されておりますが、そのことに対して、私がお話する立場にはございませんので差し控えさせていただきたいと思います。ただ、今、日本全体が様々な面で厳しい局面を迎えております。そのような中で地方自治体は、地方財政法などの国の財政法、規則などに従って運営していかなければなりません。国には、自治体が自主運営ができるよう、しっかりとした体制を確立させていただきたいと思います。自治体と国とが連携して、安全、安心な国づくり、本市としては地域づくりをやっていきたいと思っております。

(記者)

現在、相模原市に投票用紙読取分類機が導入されていないという事ですが、職員の事務の軽減や開票時間の短縮等のため、次の衆議院議員総選挙で導入する予定はありますか。

(市長)

選挙管理委員会では、現在、今年度予算で、投票用紙読取分類機を1台更新する事務を進めており、来月の衆議院議員総選挙にも使用すると伺っております。機器の導入以外にも開票事務の流れがスムーズになるための事務の見直しを検討しているとのことですが、今後は、必要な台数が導入できるよう、支援をしていきたいと思っております。

(記者)

中学校デリバリー給食の異物混入問題で、発端である大磯町が業者の変更を検討しているとのことですが、相模原の場合は、工場への立ち入りや、業者変更などを実施する考えはありますか。

(教育長)

本市の場合、業者への指導として、これまでも月1回、定期的に衛生検査を行っております。これまで、1年半で四十数万食の提供に対して、本市の場合三十数件の混入が確認されておりますが、他の政令市の状況等と比べて中で、特に混入率が高いということはありません。ただ、あつてはならない事と認識しております。今後、さらに指導を徹底することとしておりますが、現段階で業者の変更等は考えておりません。

(記者)

もうひとつの問題として残食率があると思います。保護者等から話がでてきているのは、あまり美味しくない。市として業者を見直す、という事も必要だと思います。

(記者)

選挙の話に戻りますが、投票用紙読取分類機の導入を早くお願いします。

(市長)

記者の皆様方にもご迷惑をお掛けしており申し訳ございません。実は、私も以前は市の職員と

して選挙事務をやっておりました。その際も、開票が遅いと言われた覚えがあります。投票区が大きかったので仕方が無い部分もあったのですが、それ以来ずっと新聞記者の皆様や候補者、有権者の皆様にもご意見を頂いておりました。今後、機器の導入など、対応できるものはしっかりとやってまいります。

以 上